

子どもの居場所づくり事業

VISION2033

特定非営利活動法人 Sunny Side Standard



00 事業紹介

主な非営利事業・営利事業

01 振り返り

今年度の活動についてレビュー

02 現状認識

サニスタを取り巻く状況

03 全体像

10年後の姿 VISION 2033

04 取り組み

2024年度の取り組み

『子どもの居場所づくり』が基幹事業

非営利事業

子どもの居場所づくり事業

太子町内の困りごとを抱える子どもたちが、大学生や地域の大人と一緒に過ごすことで、元気に前向きに進んでいけるようにサポートします。

日時：毎週木曜日 18：30～21：00

場所：善久寺

フードサイクル事業

地域の方のお野菜や、関係団体からご提供いただいた食材などを、お困りのご家庭にお配りしております。

日時：毎週火曜日 午後～夕方

営利事業

太子町子育て連携支援員による生活支援等事業

太子町内の小学生から高校生までを対象に、毎週1回の訪問等による個別支援を行います。

生活相談/学習支援/進路相談/就学相談/養育相談など

計画相談支援・障害児相談支援事業

障がい児・者を対象に、サービスの利用に必要な「サービス等利用計画」の作成を行います。

障害福祉サービス利用に関するご相談をお受けし、関係機関との連絡調整などを行います

居場所活動や訪問活動等を計画通りに実施

振り返り

居場所活動

毎週木曜日 18時30分～21時00分
善久寺



51回
(2/17時点)

訪問所活動

毎週火曜日 午後～夕方
フードサイクル事業の食材提
供と併せて実施



4 家庭

支援計画会議

毎月 第四金曜日 19時00分～
学生ボランティアが意見を出し
合いながら作成



全員分

2023年 4月 BBQ → 雨天中止で体育館

8月 夏休み 流しそうめん

クラフト教室 仏教婦人会 サンドアート

11月 白浜 エネルギーランド 遠足

12月 クリスマス会

2024年 3月 進学祝いパーティー



居場所活動

一般に非公開の居場所

子どもたちや家族を守るため非公開にしている。
そのため、一般にはほとんど認知されていない。

ケースワーク活動

福祉・教委・学校との連携

子どもや家庭の気になるようすがあれば、その都度電話や機関訪問をして情報共有したり、対応について相談をしている。

要保護児童対策地域協議会への参加

要対協事務局の依頼を受けて、個別ケース検討会議に参したり、要保護児童等経過観察記録の提出をしている。

課題：一般公開しても子どもへの理解とサポートを得られる地域づくり

今年度

子ども 8~12名/日

磯長小学校 6名

山田小学校 2名

中学校 3名

高校 2名

合計 13名



来年度

進学する児童が4名

磯長小学校 4名

山田小学校 2名

中学校 3名

高校 4名

合計 13名



スタッフの状況

現状認識

今年度

来年度

運営スタッフ	3名	▶	継続 ~ 先を見据えて次世代育成を。
大学生ボランティア	5~8名/日	▶	大学生卒業~就職 6名 ↘
社会人ボランティア	5~8名/日	▶	仕事や生活の変化により ↘
調理ボランティア	3~5名/日	▶	継続

課題：大学生・社会人ボランティアの循環とつながりの継続

助成金・補助金の状況 ①

現状認識

今年度

大阪いずみ市民生協 とまとちゃん福祉基金

2023年4月～2024年3月

子どもの居場所づくり活動 30万円

浄土真宗本願寺派 子ども達の笑顔のために募金

2023年4月～2024年3月

子ども食堂 10万円

学習支援 5万円

来年度

申請中

2024年4月～2025年3月

子どもの居場所づくり活動 30万円

子どもの居場所のための資金づくり 5万円

申請予定

2024年4月～2025年3月

子ども食堂 10万円

学習支援 5万円

助成金・補助金の状況 ②

現状認識

今年度

来年度

2022年度ドコモ市民活動団体助成事業

2022年9月～2023年8月

居場所活動に伴うケースワーク活動 100万円

▶ 今年度で終了（最長3年間）

太子町子どもの居場所づくり活動特別支援補助金

2023年4月～2024年3月

物価高騰 補助 50万円

▶ 単年度で終了

課題：助成金・補助金のマイナス100万円を補填する取り組み

寄付の状況

現状認識

今年度

大阪いずみ市民生協 食材提供

2023年4月～2024年3月
食材の約半以上を賄っている

地域の方々からの物品寄付

農産物、お菓子、おもちゃ、教材、本 など

寄付金

2023年4月～2024年2月現在

直接手渡し	25,000円
マンスリーサポーター	45,502円

来年度

継続

引き続きのご支援を。

毎年減少傾向 ↘

課題：寄付金で活動費用を補うための資金面の基盤強化

2033年に目指す姿

2024年度の取り組み

- 報告会
- SNSで活動の見える化（試行）
- サポートしやすいシステムづくり
Syncable OSUSO

2024

- 支援者に限定してオープンに活動
- マンスリーサポーター 5万円/月
- 運営を次世代にシフト

2027

2030

2033

2033年に目指す姿

- オープンに活動できる地域を実現
- マンスリーサポーター 20万円/月
- 運営スタッフの世代交代
- 地域ボランティアのチームづくり

活動報告会

子どもの居場所づくり事業で実施した活動や、子どもたちの変化、実績などについて報告します。

- ▶ 1回/年（予定）



SNS活用

普段の居場所の雰囲気や子どもたちの様子を定期的にお知らせします。

- ▶ 新しい「つながり」のカタチ ①見守り



OSUSO

社会課題に対して寄付ができる寄付プラットフォームの活用

おすそわけで、
世界は変わる。

OSUSOは、
日本の思いやり文化「おすそわけ」で
世界を良くするサービスです。



Syncable

決済方法の充実した寄付フォームの活用

- ▶ 新しい「つながり」のカタチ ②サポーター
- ▶ マンスリーサポーター 3万円/月を目指す

